

生徒指導通信 ~7月特別号~

令和2年 7月 22日
岸和田市立光陽中学校
生徒指導委員会

期末テストも終わり…これから夏本番を迎えます！

期末テストが今日で終了しました。1年生にとっては中学校での初めての定期テスト、2・3年生にとっては初めて経験する長期の臨時休校期間後のテストということもあり、また3年生は今まで以上に進路を意識したものにもなり、みなさんそれぞれにとって、とても緊張したものになったのではないのでしょうか。

きっとテスト前の一週間は、みんないつも以上に勉強をがんばったことだと思いますが、**本当に大切なのはここから先の取り組み**です。来週の授業でテストが返却される予定ですが、その点数だけで満足したり、または悲観したりするだけで終わるのではなく、**なぜそんな結果になったのか**、取り組みで**良かった点**や**悪かった点**、またどこを修正すれば次にもっと良くなるのか…などを**しっかりと分析**しましょう。それが1学期の残り2週間で行える大切な取り組みで、きっとこれから先の勉強や進路にも大きく影響すると思います！

◎ 夏休みまでのあと2週間の学校における熱中症防止対策について

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年は授業を実施していない期間（7月27日から8月7日まで）にも授業日が設定されています。

例年であれば夏休み期間であるこの時期は、**かなりの暑さ**が予想されます。そのうえ感染防止対策のため、登下校時を含めて**マスクの着用**も引き続きお願いいたしますので、校内や登下校時の熱中症リスクの軽減や、制服や体操服の洗い替え等も考慮して、これから夏休みまでの2週間は**体操服での登校も許可**したいと思います。

※[注] 体操服で登校しないといけない、というわけでは**ありません**。これまで通り制服登校を基本に考えていますが、この期間は特別に「**体操服で登校してもよい**」という形にします。

ただ、**給食の実施**にあたって、配膳室への入室や教室での配膳などで**衛生面にも配慮する**必要がありますので、体操服で登校した場合にも、体育のある日などは**着替えを忘れずに持参する**ようにしてください。総合の時間などで運動を行う場合も同様です。また、**タオルや水分補給の水筒（少し多いめに）**も忘れずに持参してくださいね。



みなさん一人ひとりの協力が必要ですので、ご協力をお願いします。

1+1 ≠ 2?!

◎ 「リングルマン効果」を知っていますか？

ドイツの学者リングルマンが行った、綱引きに関する大変興味深い実験について紹介をします。



1人だけで綱を引くときと、2人が力を合わせて綱を引くとき、さらにその後も3人、4人、…と力を合わせる人数が増えていくたびに、一人ひとりがどのように力を発揮するのかを調べる実験でした。

綱引きに参加する人数が増えるほど、それが“相乗効果”となり、それぞれがより大きな力を発揮することを期待して実験を行ったわけです。

…しかし、実際はまったく違う結果が出たそうです。

1人で綱を引いた時の力を100%とした場合、2人で引いたときの1人当たりの力は93%までダウンし、3人では85%、5人では70%、そして8人では、何と半分以下の49%になってしまった、というものでした。

つまり「**集団で行う作業の場合、人数が増えるほど1人あたりの貢献度が低下する**」ことが確認された実験となったわけです。この人が増えると無意識に手を抜いてしまう心理現象のことを「**リングルマン効果**」あるいは「**社会的手抜き**」といいます。

この結果について、みなさんはどんなことを感じましたか？

みなさんにも、同じような経験はありませんか？

◎ ではなぜ集団になると一人のときよりも力が発揮できなかったのでしょうか。

その主な理由は、一人ひとりの心の中にある「誰かがやってくれるだろう」「自分ががんばっても大きな影響はない」「自分が努力してもそれだけでは決まらない」という気持ちが、人数が増えるほど大きくなってしまふからだと考えられています。

このリングルマン効果を遮断するためには「自分ひとりくらい」という考え方を「自分がやらなければ」へと変えなければなりません。つまり、担当する仕事や役割に対して、みんな一人ひとりが責任や誇りを持てるようになることが大切です。

例えば給食の準備や配膳なども、分散登校が終了して手伝う人数が増えたので、理論上は前よりも早く準備ができるようになったはずですね。

さあ、あなたのクラスの現状はどうか？

そして、あなた自身のクラスへの“貢献度”は…。

1学期の残りの2週間、みなさんのいろいろな場面での行動に期待していますね！